海腹川背 1

うみはらかわせ

山吹ショウマ

バーガーSC 405

海腹川背 1

山吹ショウマ

スコラ

バーガーSC
405

海腹川背 1

山吹ショウマ

スコラ

●

55-000000000
★海腹川背
山吹ショウマ
まんだらけ
（税別）100
バーガーSC
0101072685 5400003

1919979005208

ISBN4-7962-4349-6

79 P520E

50326-09

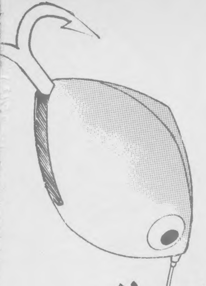
定価520円[本体505円]

海腹川背
うみはらかわせ

© TNN NHKSC

第①巻

山吹ショウマ

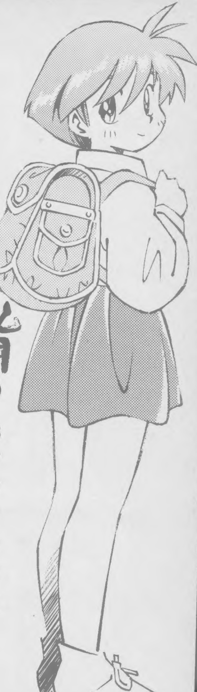


海腹川背 1

うみはらかわせ

CONTENTS

第1話 …… 3
第2話 …… 37
第3話 …… 67
第4話 …… 97
第5話 …… 127
第6話 …… 157
魔法あります …… 189



★本作品はフィクションで、実在の人物・団体等とは無関係です。

以前 母の言いつけに
そむいて
海に潜ってみた
ことがある
後になって
たいへん叱られたが
不思議と水の中でも
苦しくならない
自分の息と
空を飛ぶにも似た
自由な感覚に

第1話
海の中こそが
私の居るべき
場所じゃないかと
思ってしまうほどだった

よーだいぶ
給仕も
さまになって
きたなー
まあね
バイト終わったら
ディンギー
買うんだって?
潮路(しおじ)ーー!
これテーブル
5番ね!!
はいよ
ーーっ

……
…？
何だか
海の中が
光ったような
……………
気の
せいかな
？
ん？
たった今まで
あった
料理が
ない～～～!?
何やってん
だあ～～～～っ
お前は!!
もう一回作って
やるから 早く
もってけ!!
つーん

おっかしいなあ〜〜〜!?
なくなるはずなんてないのに
たしかこの辺で海を見てる間に…
消えちまった……あれ?
わ〜〜〜!?まただ——
お前という奴は〜〜〜〜!!
何で二度も無くす——!?
おかしい!!絶対におかしい!
何か 俺がここで海の方を見ると……

ガギッ
なるほど
そういう
ことかい…
この盗人
ヤローめ
!!
この潮路様を
なめるなぁ
!!

どわ〜〜〜〜〜!?
……
キサマは料理ひとつ満足に運べんかー!!
ホールはもういいから倉庫整理でもしてこい!!

だいぶシボられたみたいだな
さんざんだよー
若いうちは腹の減りも早いのはわかるがなつまみ喰いはいかんぞー
俺じゃねーーっ!!
海の中で何か光ってたんでそれに気を取られてるスキに何者かが…
ほうほう
サボるなよ!
聞いちゃいねえや

くっそー
何で俺が
こんな目に…
わっ!
?
何でダクトの
フタが
こんな所に?
ゴッ
だ…
誰か
いるのか
おーい

ぐぅ…
お…おや〜〜〜？
こんな所に女の子がねてる〜〜〜!?
あの〜〜〜
もしも〜〜〜し!?
おっ？

こ……これは さっき無くなった料理の食べ残し!!
す…するとあの犯人は…………
う……ん
やい!! さっきはよくも…
き…
きゃ〜〜〜痴漢〜〜〜〜〜!!

ちょっと…ちょっと待て〜〜〜!!俺は…
いや〜〜寄らないで〜〜!!
──ってあれれ?あなたはさっきの給仕さん…?
あんまりだ……
──で何であんなことをしたんだ?
ごめんなさい…私この2日間お水しか飲んでなくってつい…食べ物はいっぱい持ってきたつもりだったんだけど…
ひょっとして君……
えっ?
そうなのこっそりこの船に乗っちゃったの……

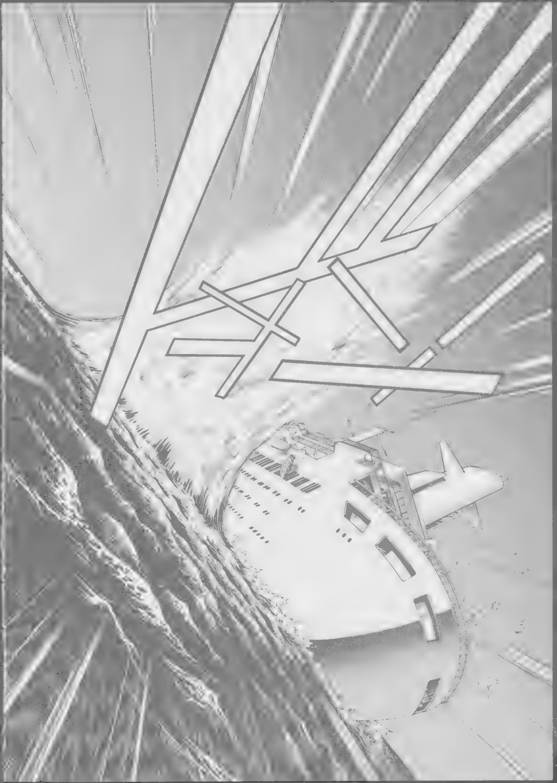
密航者……!?
なんて古風な…
お願い!どうか私のこと見逃して!!
といわれてもなあ……そりゃあ客に紛れちゃえばとりあえずはバレないだろうけど……
勝手ないい分なのはわかってるわ…
だいたい 何で君みたいな女の子が密航なんかしてるのさ?
………
………

なんか相当
わけありって
感じだな…
しかたない
俺の食事を
半分やるからさ
もう客の料理は
とらないでくれよ
な
!
ありがとう
見逃して
くれるのね!?
がばっ
どぐっ
やだ
私ったら
……
はっ
私……
川瀬って
いうの!
俺は
潮路

ところで さっきのルアーみたいなのありゃいったい何だい？
何かスタンガンみたいな…
な 何の音かしら？

ドカァァア
いたた…
な…何なの〜〜〜!?
今のは何だ!? 漂流物か!?
船長 あれを!!
海の中が……光ってる!?

あれはさっき俺が見た光……？
すごい速さだわ！あれがぶつかったの？
何ですかありゃ！
潜水艦!?
バカいえあんなに速く動けるはずがない！
こっちへやってくる……!!
もう一度ぶつかるつもりだ!?



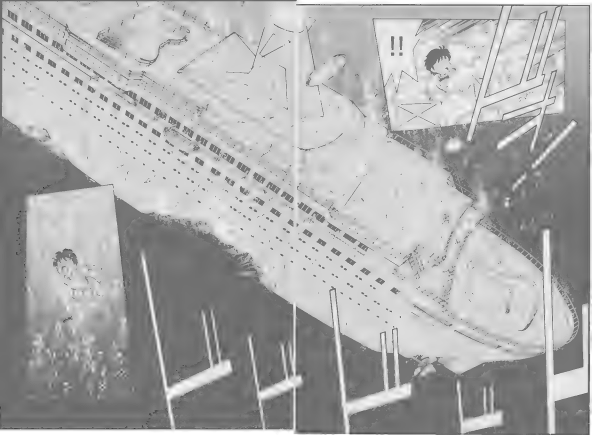
わあ！
危ない!!

大丈夫!?
な…何とか
でも…今ので この船傾いちゃったみたい…
このまま沈んじゃうのかしら!?
船底より浸水!!
今の衝突で船体にきれつが…!!
救命ボートを降ろせ!!
急いで乗客の避難を!!

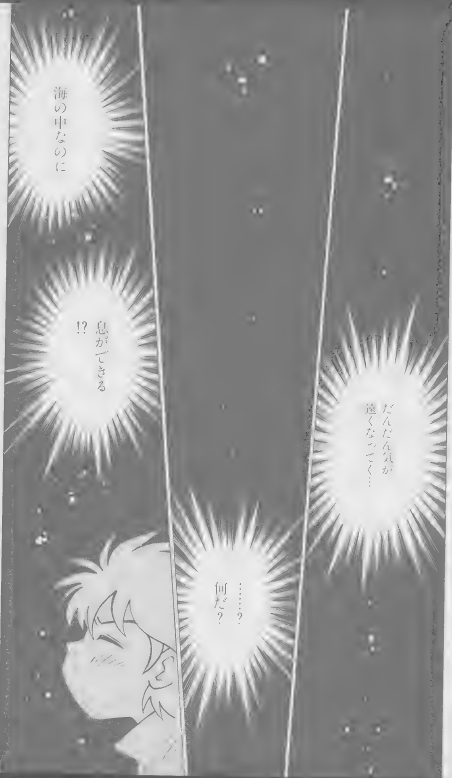
どうやら この船 もうダメな ようだ!!
あっ!
デッキに 上がろう!!
足が抜け ない…!!
荷物で はさまれ ちゃってる!
大変 だ!!
くそっ!! 重くて 動かない…
誰か他に 人は…!?

わっー!
もうこんな所まで水が…!!
私は いいから潮路さんだけでも逃げて!!
何とかして動かせないか…!?
……待てよ
そんなことできるわけないだろ このアホーー!
このまま荷物が水につかれば浮力できっと軽くなる!
たぶん俺の力でも動くはずだ!!

ごめんなさい……私なんかのために
あたり前のことやってるだけだよ！
これだけ水につかれば充分だな…
よしもう一度
ギイ
はずれたわ!!



くそう ここまでか……!!
とても上まで 息がもたない……!!
ごめんな 助けてあげられ なく…て…

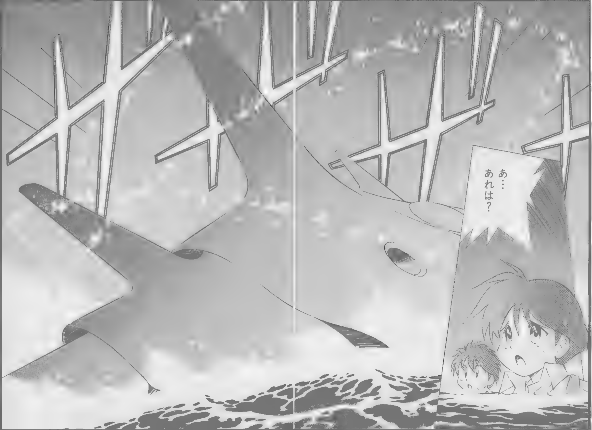

だんだん気が遠くなってく…
……?何だ?
海の中なのに
息ができる!?

この子……
海の中なのにどうして……？
ふう…どうやら助かったようだ～～！
でも君！どうして水の中でも息が…!!
…………

…………わからないの…………
昔から こうだったから…………
両親とかからは何も教えてもらってないの!?
…………
…………両親は いないわ
……というより いなくなったの
…………

そういえば
他の人達は
どうしたんだろ？
少し流され
ちゃったの
かな？
？
わっ！

第2話

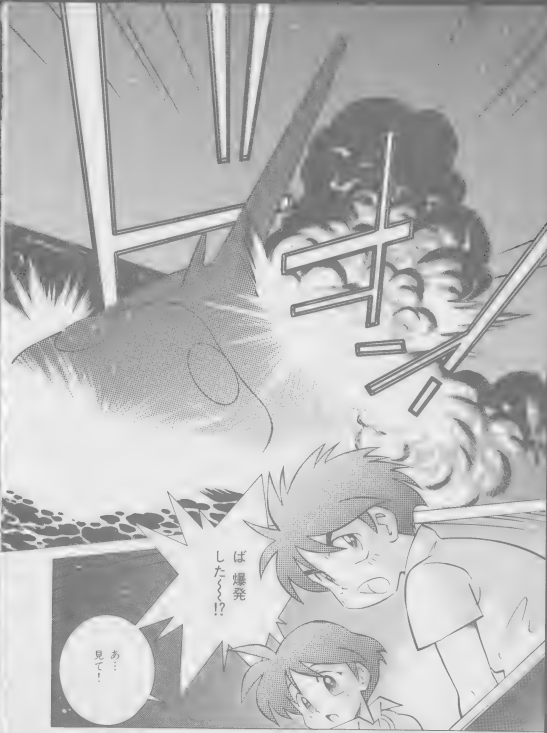

あ…
あれは？

はやく
この陰に
!!
あれが
船を
沈めたの
かしら…
?
だとしたら
さっきと違って
今度は ずい分
ゆっくりしてるな
まるで
何かを
捜してる
みたい…

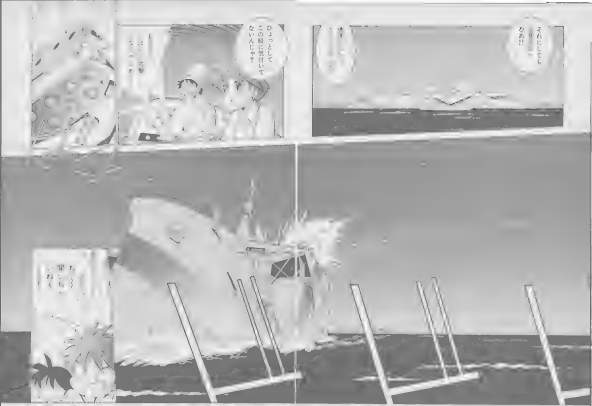
頼むから
このまま
気付かないで
くれよ……
ふあ
うわ〜〜
こっちに
来た〜〜〜！
まるで
ドリフのコント
みたいな
展開だ〜〜〜！

お〜〜〜い
潮路〜〜〜!!
チーフ!!
今助けるぞ〜〜〜!!
さ早く乗れ！
そっちの嬢ちゃんも早く！

加速した！
こ…こいつ船にぶつけるつもりだ
わぁ〜〜っ!!


ば 爆発
した〜〜!?
あ…
見て!

巡視艇!?
にしては大きい
だいいちあんな
型 見たこと
ないぞ!!
動きが
止まったわ!
今のが
効いたのかな
……?



それにしても
なあ!!
ひょっとして
この船に気付いて
ないんじゃ?

ドカカァ!!
ムチャクチャしやかる!!
なんだかこっちのこと知ってやってるみたいだぞ!!
あのオコゼみたいなのどうなったかな?
今のは相当効いたようだけど……

オオイ
何て奴だ ぜんっぜん 効いて ねえぞ…!!
あ… でもみて ……
沈んで行く !?
やっぱり今のが 効いてたのかな !?
バカ! もともと あいつは沈む ようにできてんだ !!

すごい……
いったい何ノット出てるんだ!?
行っちゃった……
いったい何だったんだ? あれは…?
それにしても あの船…

いったい
どういうつもりだ~~~!?
すごいな
三胴船だぞ
あんたが
責任者か!?
まだこの辺りには
漂流している
者も たくさん
いるんだぞ!!
我々の任務は
人命救助では
ない!
ひろって
やっただけでも
ありがたく
思え!
何だと
この野郎
~~~!!
ずいぶん
騒がしい
ようですね
~~~

あなたは
四方津重工
の……
ノクリ！
おお……！
これは
これは
海原教授の
お嬢さんでは
ないですか

ずいぶん捜しましたよ
まさかあの船に乗っておられたとは…
父さんを返して!!
これはまたいきなり人聞きの悪いことを
とぼけないで！父をさらったのは あなた達でしょう!?
いったい何のことやら……
だがちょうどよかった！
少々私達に協力していただきたいことがあるのですが…

あ…
わっ！儂の荷物……！

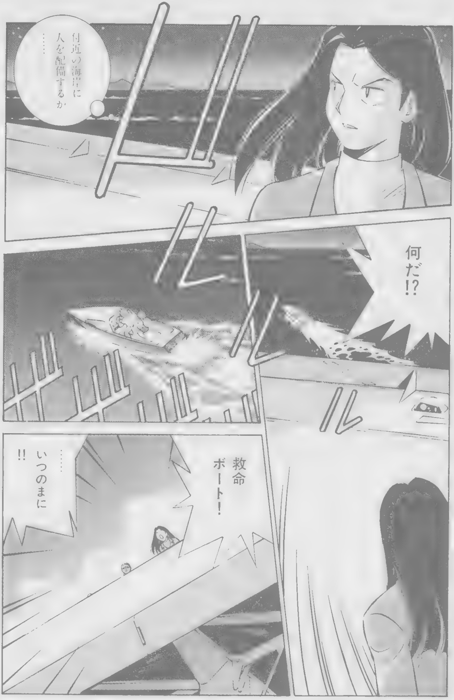
おおっ！

飛んだ!?
捕えろ!!
船尾に追いつめるんだ!!

もう
逃げられ
ないぞ！
わっ！

しまった……!!

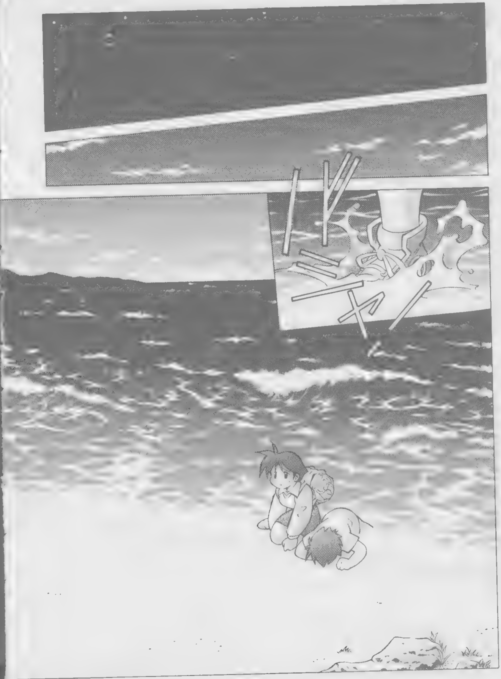
水の中に逃げられたのは少々やっかいだな…
爆雷でも落としてみますか？
研究材料を殺してしまっては困る
……研究材料？
潮路さん…
潮路さん…
川…じゃあ今のは⁉
荷物を落としただけよそのまま聞いて…


付近の海岸に
人を配備するか
……
何だ!?
救命
ボート!
……
いつのまに
!!

うまくいったね!!
海岸が近くて助かった!
おっ?

いかくの
つもりだったん
ですが…
誰が
撃てと
言った!?

思いがけず
あの娘を
手に入れられ
たと思ったの
に……
くそっ！


バシャン

第3話

う――
塩水で
体ベトベト
気持ち
悪い〜〜〜

……
ふ——
どうにか家に
戻って来れた
〜〜〜！
巨大オコゼやら
戦艦やら
何か怪しい
連中やら…
いろんなことが
いっぺんに起こったんで
頭がクラクラするよ〜〜〜
——
それにしても
ふがいない！
この潮路
あろうことか
女に2度も
助けて
もらうとは！

お――
やってる
やってる
ひきつづき
客船事故の
ニュースです!
昨夜 K市沖で
沈没した客船
パープルミスト号
他国籍の
貨物船との
衝突が原因
である見方が
強まっており…
はあ?
海上保安庁の
その後の調査
では
確認を
急いでいる
模様です
おいおい
オコゼがぶつ
かって あの船は
沈んだんだぞ!

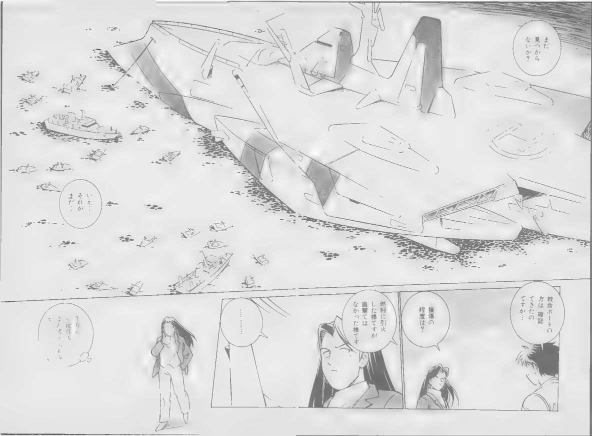
また同海域に居合わせた海洋調査船等も加わり 生存者の捜索が続けられておりますが
今なお 多数の行方不明者か存在する模様です
あの船が海洋調査船!?
ふざけんなー どうみてもあれは戦艦だったぞーー!
さっきから何だこのニュース!
事実と違うことばっかりじゃないかよ!

つつき
まして
行方不明の方の
お名前は
次のとおりです
あ—
俺の名前が
出てる出てる!
救命ボートと
一緒に沈んだ
ことになって
るもんなー
さすがに
密航者の
川瀬さんの
名前は
ないなー
あれ?

チーフや
じいさん…
バイトの子の
名前まで…
あの戦艦に
救助されたはず
なのに……?
いったい どう
なってんだ!?
おかしい…
あのノクリとか
いう男といい
……
どうも
不可解な事が
多すぎる!
これって
もしかして
報道管制!?
何で あの連中は
あの子のことを
追っかけてんだ
?
あの子の
親父さんも
あいつらが
連れてった
みたいだし…

あの子の特殊な能力のせい?
研究材料を殺してしまっては困る
研究材料? どういう意味だろう?
確かにあの子には本人も知らない何か特別な秘密があるようだけど…
―そう! いちばん不思議なのはそれだ!
何であの子は水中で息ができるんだ!?
!

オホホホ
まさか あの子…
人魚!?
——って そんなわけ ないか…
ザァ
…
——でも それに近い ものかも…
たとえば 体のどこかに えらがある とか…
失礼ね!
とする と……
ぬうう 半魚人!?
トホホ



まだ見つからないか？
いえ、それがまだ…
救命ボートの方は確認てきたのてすが…
損傷の程度は？
燃料に引火した様てすが直撃てはなかった様てす
………

捜索半径を5kmにまで広げろ！
他の乗客の救助は保安庁に仕せておけばよいだろう
私は一度研究所に戻る！
はい！
まったくあなたのおかげでずいぶん手間がかかってしまった！
確かに少々乱暴すぎたことは反省してますが…
それにしても
あなたが我々に対して指揮権を持っているというのは
少々納得できませんな！

共同出資者にも
現場に口を
出させて欲しい
ということですよ！
いけ好かん
奴だ！
なぜ四方津(よもつ)の連中は
あんな小娘一人に
こんなにやっきに
なるんですかね？
それに
あの化け物の
追跡が　俺達の
本業だと思って
たんですが…

その化け物を人魚どもが操っているかもしれんということだ！
はあ？
やい！俺達はいつ[redacted]れ[redacted]んだ!?
当分この船に乗ってろ！

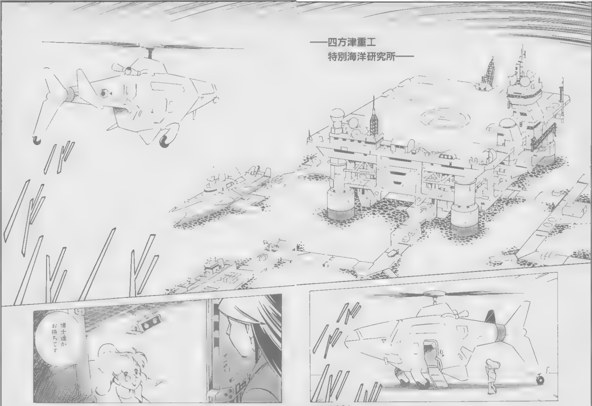
チャプ
…………
みかけは
みんなと同じ
普通の
体……
とろ〜り

あの子の正体が何なのか…
今ならそれを確かめる絶好の機会！
はっ
……待てよ これって冷静に考えれば
単なるのぞき!?
だ
いか～～～ん!! この俺ともあろうものがそんな…
あ
おっ？

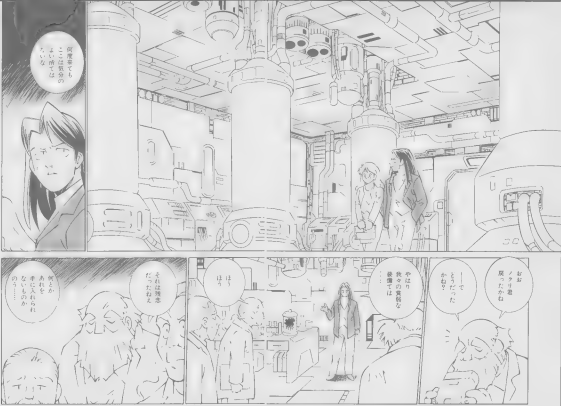
これはあの時のルアー？
きゃ！

いてて……
？
ぷよ..
き……

何てこと
するの〜〜〜!
この変態
〜〜〜〜!!
わ〜〜〜誤解
だあ〜〜〜!!
あんまり
だあ〜…



──四方津重工
特別海洋研究所──
博士達がお待ちです


何度来ても ここは気分の よい所では ないな
おお ノクリ君 戻ったかね
―で どうだった かね?
やはり 我々の貧弱な 装備では ・・・
ほう ほう
それは残念 だったねえ
何とか あれを 手に入れられ ないものか のう……

あれを手に入れて研究することができたら……
そうそう
さぞや貴重な知識や技術が得られるじゃろうに！
もちろん四方津にとっても大きな利益じゃ！
それにしてもあのような化け物が海の底をうろついておったとは……
いやいやまったく！
長生きはしてみるもんじゃな
所長しっかりしてください！
こいつらのペースにはついて行けん！
おうところでな

とな!

陸上でも
活動できるが
いかんせん
知能が低くて
なあ
水中での
複雑な作業には
あまり向かんかも
しれんのう
そのかわり
狂暴だから
兵隊に
使えるぞ!
うん
うん
おや
どうした?
い…
いえ…
まあ完全なものが
出来上がるまで
には もう少し
時間が必要
じゃな
それは
そうと…

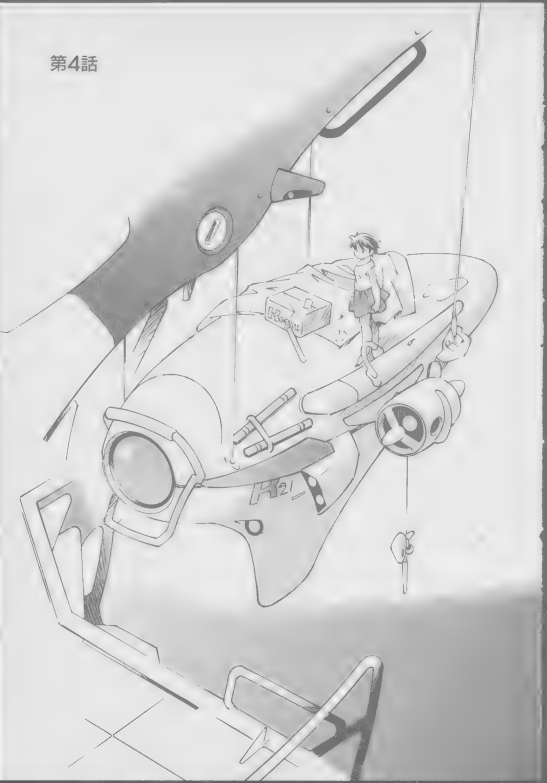
海原君の説得の方はうまくいっておるかね？
残念ながら……
やはり直接 娘さんに協力してもらうしかないのかのう……
実は そのことなのですが
ふむ 取り逃がしてしまったか…
いや～～まったくもって残念 残念
なかなかの器量よしと聞いとっただけにのう

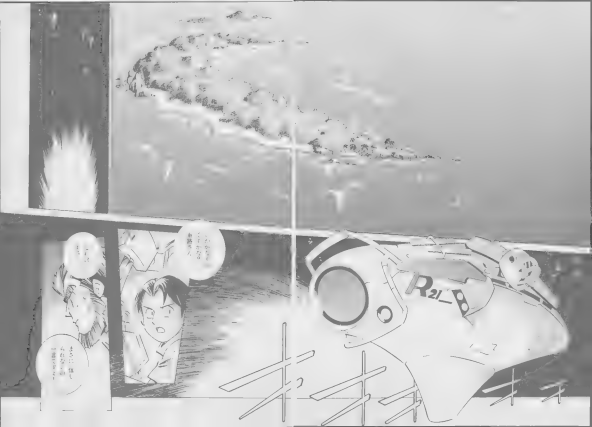
例の怪物の件と いい 我々の研究と いい 海原君の 協力は絶対に 必要じゃ!
――まあ 気長に 待っておるから
よろしく 頼むよ!
くそっ ジジイども め…!!
いつもこの 調子だ!
あの… 調査船から 連絡が…
陸上班です
それらしき 子供を乗せた トラックが いました!

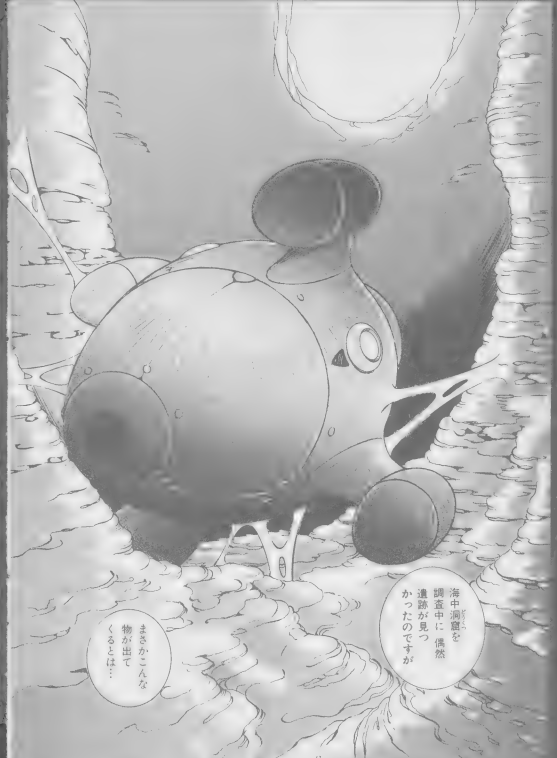
聞いた感じの
背格好からして
ほぼ間違い
ないと思います
やはり生きて
いたか！
すぐに
男の方の
身元を
調べろ！
これでやっと
材料が
そろったな…！

……
思いっ切り
たたくん
だもんな…
でも
とりあえず
エラとかは
無かった
みたい
？

第4話




まさに信じられない一言ですよ
R21


海中洞窟を調査中に偶然遺跡が見つかったのですが
まさかこんな物が出てくるとは…

この壁画が描かれたのが推定で1万2千年程前…
海面も現在より100m近く低かった頃ですが
ところが これはそれよりもずっと以前から ここにあったようなのです
つまり…
我々 以前に何か高度な技術を持った文明が存在したとでも？
そう言いたくもなりますよ！
うーむ
たしかにこれを見せられた後では…

いったい何者がこれを建造したのか…
今のところこれがどんな材質で出来ているかすらわからないのですから！
謎ですな！
これ程の年月の中何の付着物もないとは…
造船屋が聞いたら泣いて喜びますな
おっ？
あそこに何か文字のようなものが…

もう少し近づいてみよう……
キィィィィン

みんな大丈夫か!?
と…どうしか…
まさか また機能か生きているとは…!!
い…今のはいったい何だったんでしょう?
一種の自己防衛機能だったのでは?
まったく驚きましたな!!

そういえば
最近気になる
うわさが…
何でも 四方津と
国の連中が
正体不明の海の
化け物を追っかけ
てるとか……
化け物!?
あるいは これと
何か関係が
あるのでは?
魚のような
潜水艦の
ような…
これと?

まさか…
潮路先生!!
御家族の方が…!
ええ!?
船が事故を!?
すぐに帰らねば!!
い…今ハッチを開けたら…!!

わ〜〜〜っ！
水が…
水があ〜〜〜
おた
お助け〜〜〜
!!
さて…
これから
どうするか
だけど…
私
すぐにでも
ここから
出て行くわ
えっ？

あの人達は私のことも狙ってるのよ
当然 この家にも迷惑がかかるわ…
で…でも
ごめんなさい こんなにお世話になっておいて
どこか他にあてがあるの？
今はムリでもいつかきっと
きっと恩に報いるから…
お父さんを連れて行ったのはあの人達なのよ
私 助けに行かなきゃ！

助けに行くって…とうやって?
第一君の親父さんの居場所もわからないのに
それに密航してきたくらいだからお金だってないだろ?
今晩の食事にだって困るんじゃないか!?
服だってボロボロ…
それじゃ目立ってしょうがないよ
…………
いや別に意地悪を言ってるわけじゃないんだけど
ヒュウウウウウ

お
来た
来た！
Kiwi
Kiwi
さっき
いとこに
連絡つけとい
たんだ！
あ〜〜〜
無事だった
〜〜〜〜!!

晃一君の船が事故だっていうから 私 心配してたんだよ〜〜〜!
そしたらいきなり私の服と新しい下着持ってこいって言うじゃない
おまけにバイクのナンバー隠してこいって!
事故のショックでどうにかなったんじゃないかと…
これ…恭子ちゃん……
この娘誰…?

一緒に船に乗ってた…川瀬さん
あなたも事故に？
溺れかけた所を助けてもらったんだ
じゃあ…晃一君の命の恩人だね〜〜〜！
ところで俺が ここに帰ってること誰かに教えた？
言われたとおり誰にも言ってないわ！
でもどうして？
俺達 その…何か悪い奴らに追われているんだ
え〜〜どういうことよ それ！
実は……

水谷電業(株)
キッ
わかったか?
建物の確認出来ました!

おい！
はい！
あのう…
これから工事を
行いますので
できれば車の移動
お願いしたいん
ですが…
何だあ
かったるい
な…
はいはい
ただ今！
よし！
始めろ！
ぴゃ〜

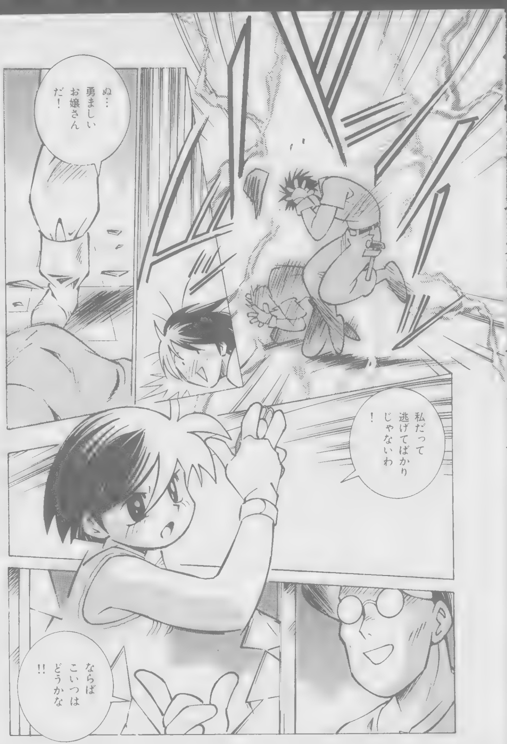
そいつらの目的が何なのかわからないけど…
とにかくこの家にはあんまり長くいない方が良さそうね
あら
よかったちょうどいい大きさみたいね！
ひとまずあなた達は私の家にくるといいわ
叔父さんにも私が連絡を取ったげる！

やだ
停電？
あ…近くで火事があったみたい
そのせいかしら？
誰だこんな所で発煙筒なんかたいた奴は!?
人騒がせな!!
さ！長居は無用
出かけましょ！

きゃっ!
団体様のお着きだ〜〜〜!!
誰!? あなた達!?
電気屋さん!?

海原教授のお嬢さんですね？
連れて行け！

おおっ!


ぬ…
勇ましい
お嬢さん
だ！
私だって
逃げてばかり
じゃないわ
！
ならば
こいつは
どうかな
!!

あ……

な…何たありゃ…
さ…魚!? メバル? カサゴ? いやいやそうじゃなくて
行け!

こら〜〜〜!
おまえの相手は
それじゃない
!!

これまでだな!
連れて行け!
どうした言うことを聞かんか!

危ない！

第5話

しっかりして!!
潮路さん!!
…………
でもこんなに血が…!!
じじゅッ!
触るないてえ〜〜〜!!
大丈夫この位の傷!
言うことを聞かんか!!
この出来損ないめが!!

わあっ
くそ！
ジジイ共め
使えないぞ
こいつは!!
娘を殺されては
元も子も
ない！
車に連れ
戻せ!!
しっぽたつまき
だめだ！
手が
つけられ
ない！

ちょっと
いったい
どうする気!?
私があいつを
引きつけて
おくから
そのスキに
潮路さんと
逃げて!
だめよ…!!
無茶よ
あんな化け物
相手に!
さあ!
お前の相手は
私なんでしょ!?
かかって
らっしゃい!

すごい…!!
あの攻撃を
全部よけ
てる!?
あの娘
何者なの
!?

ギュルルル

や…やった!?
何て奴！一時的に動きが止まるだけだわ！

何してるの!?
早く逃げて!!
で…
でも
いいから
早く!!
………
………
ご……
ごめんね!!
ま 待ってくれ
恭子ちゃん
このまま
台所へ
行ってくれ

な…何
するのよ
こんな
小麦粉なんか
魚フライ
……
はあ?
ふ…
ふざけない
でよ
こんな時に!!
いてて
いてて〜〜〜!!
ふざけてなんか
ないよ
あと親父の
納戸の中に
……
…………
……?

すごい運動能力だな！人間技じゃないぞ!!
ノクリ所長が欲しがるわけだ！
しかしこのままでは…
うむ…
仕方ないがこいつを使うしかないな
ジジイ共め帰ったらみてろよ！

川瀬さん!!
恭子さん逃げたんじゃ…?
いいから早くこっちに!!
逃がすな!
ここれは?
酸素ボンベだって!

き…きたわ!!
さ! これを投げつけるのよ!!
こ…小麦粉……!?
あなたも早く!

な…
何だ
これは!?
め…
目つぶし
……?
さあ!
勝手口から
外へ!!
よし
見てろ
……!
晃一君!
OKよ!!

こ…小麦粉か爆発した!?
晃一君すごい!
いぇ〜
でも酸素ボンベは余計だったんじゃない…?
こっぱみじん
後で親父に殺されるかも…
!

ガラ…
ま…まだ生きてた〜〜〜!?
あ何か焼き魚のにおい
おのれ…ガキ共!許さんぞ!!
!

潮路さんのところが爆発した！
ガスもれか!?
くそっ！

な…何かしら苦しんでる……!?

と…溶けてく……!?
ど…どうして?

溶けちゃった……
きっと 証拠を 残したく なかった のよ！
と… とにかく ここから 離れよう！
ガキ共が 逃げる !!
車を裏に 回せ!!
さ！ 私のバイクで
ノ… ノーヘル 3人乗り！
仕方ない でしょ！

KERKER
——にしても
あんな化け物が
出てくるなんて
!!
私 聞いて
なかったわ!
何なのあれは
最悪だわ
!!
…………

ちょっと川瀬さん！
べつにあなたが責任感じることないんだからね！
被害者のあなたがそんなに恐縮しちゃってどうするの！
もっと こう…どうどうとしてなくっちゃ！
悪いのは絶対的にあいつらなんだから！
——それって変なの
——ってあれれ？私 何か変なこと言ってる？

パァァァァン！
な…何!?
ヴォオオオ
あ…あいつらだ!!
何てしつこい！

でも
大丈夫よ!!
車になんか
負けない
から!
オオオ
な 何だか
どんどん
追いついて
くるけど?
変だわ!
エンジンが
吹けない!?

あ
そうか
さっき火をつける時にプラグ一本使ったっけ!
このバイクシリンダーが一つ死んでるわけだ!
どうりでエンジンの調子が悪いと思ったわ〜〜〜〜!!
うそ〜〜〜〜〜〜!?
※実際はまぬけな音ですぐわかる.
ガキ共め覚悟しろ〜〜〜!!
だめだ追いつかれる…!!

な
何が
起こった
の……？
ガチャ

だ 大丈夫ですか～～～!!
いや 実は息子が船で事故を……!!
それで急いでまして!!
す…すぐに救急車も呼びますから!!
お…親父!
叔父さん……!
ん?
わあ～～～!! 晃一～～～!! 何でお前がここに～～～!?
いてていてて～～～!!

何!?
失敗したたと!?
言い訳は後で聞いてやる!!すぐにそこから引き上げろ!
証拠になるものは絶対に残すな!
おのれ……!!
家を爆破しただと〜〜〜!?
てめえ〜〜あと何年ローンが残ってると思ってる〜〜〜!?
わぁ〜〜やめろ〜〜〜!!オレはケガ人だ〜〜〜〜!!

第6話

ジ…ジジイ共！いったいこれは どういうことだ!?
帰ってくるなり俺をこんな所に押し込みやがって!!

娘を連れてこれなかったのも お前らのせいだぞ!!
さあ早くここから出しやがれ！
やれやれ何ともにぎやかな奴だな

し所長！
いったいこれは
どういう事
ですか!?
まさか計画
失敗のことで
……!?
カチ
始めろ
わあっ!?
い…
いったい
何を!?

なあに
苦しいのは
最初の
数分間だけ
……
じきに
楽になる!
そんな!
あの失敗は
ジジィ共の
……
あの化け物の
暴走の
せいだ!!
私の責任
じゃない!

調整機を失くしたことも…?
そ…それは……!!
がはっ
いやだ!私はまだ死にたくない!
助けてくれ!
たっ頼む!命ばかりは……
何でもする!!
ほお何でも?

そう
何でも…
だ…
だから
面白いか
？
ですけど
あの必死の
表情……
…………
…………!?

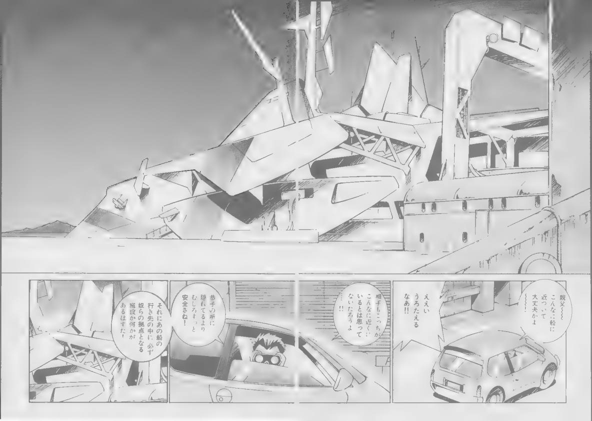
水の中で
息が
出来る!?
相当に
驚いて
いるようだな
な…
なぜだ!?
息が…
私も驚き
ましたわ!
人が
水の中でも
溺れない
なんて…
液体呼吸が
可能なことは
百年以上前から
わかっていた
ことだ
技術自体も
そう新しい
ものではない

この水そうの中に入っているのはフルオロカーボンと呼ばれる炭素とフッ素の化合物で
しかし普通の水の中ではやはり人間は活動できない
血液中の酸素と二酸化炭素の交換に 実に効率よく機能してくれる……
何だ 怪しい動きだな?
早くここから出してくれって言ってるのでは?

ゴォォ
ごほっ ごほっ!!
どうだったかな? 魚になった 気分は?
どうも こうも…
まったく 所長も 人が悪い!! ……
ほんとに驚き ましたよ!
しかしけして 悪い気分では なかった ですね

そうか… 気に入って もらえたの なら
その気分を 恒久的なものに したいとは 思わないか?
は?
さっき君は "何でもする"と 確かにそう 言ったな?
早速それを 実行して もらおうと 思うのだが…
………
……?
なあに心配は いらんよ
儂らに まかせて おきなさい!

やはり


親父〜〜〜 こんなに船に近づいて大丈夫かよ〜〜〜!
ええい うろたえるなあ!!
相手もこっちがこんなに近くにいるとは思ってないだろうよ……!!
恭子の所に隠れてるよりむしろずっと安全さね!
それにあの船の行き先の中に必ず奴らの拠点となる施設か何かがあるはずだ!

だからって俺
この格好の
ままは いや
だな——
そんなこと
ないわよ
晃一君
私より
きれいな
くらいよぉ
やめろ
〜〜〜！
せめてもの
カモフラージュだ
しばらくがまん
してろ！
そんな〜〜〜
くすくす
もっと苦しみ
やがれ
てめー親父！
家のことをまだ
根に持ってた
なあ〜〜〜！
何の
ことやら

それにしても君が海原くんのお嬢さんだったとはなあ…
俺も親父の知り合いとは思わなかったよ!
彼は儂と同じ水中考古学者……
同業者だったんだ!
10年以上前にオセアニアに調査に行った後音信不通になってたんだが……
お前達! ここで何をしている!?
この先は私有地で立ち入り禁止だぞ!!

いえ…
子供達と
海を見にきたら
変わった船が
あったものて…
つい
その…
……
終わったな
えっ!?
娘が3人も
……
あんた人生
終わってるよ
!
お俺も
先だって
長女に続いて
三つ子の女が…
は
はあ…
とにかく!
ここから先は
入らないように
!!
はあ…

あーびっくりした〜〜〜！
みんな大変なのねー
て……これからどうするのさ？
親父の船で後をつけるのか？
いや…
直接あの船に忍び込もう！

え〜〜〜〜!?
気は確かか親父!?
あたり前だ!!
さっきも言っただろうが!!
まさか こんなにすぐ しかも こんなに無茶な方法で自分達の所にやってくるなんて相手だって想像もしないだろうぜ!!
うわはは
おい おい〜〜〜
あんた本当に学者かよ〜〜!
むしろ冒険野郎と呼んでくれ!!
乗り込んだ後は どうすんだよ〜〜!?
もちろん考え中だ!

あ……あんなこと言ってるけど…
私も賛成だわ
だって……
これ以上逃げ回ったってその先々で誰かに迷惑をかけるだけだもの!
でも…本当は私が一人で行くべきなのに…
またそういうこと言ってる〜〜〜!!
ここまできた以上あなた一人でなんか 行かせないわよ!!
みんなで捕らわれのお父様を救い出すのよ!!
うむ! さすが儂のめいっ子だ!
ぬうう〜〜〜

06
07
8
あのコンテナに隠れて 船の中に忍び込もう!
私にいい考えがあるわ!
晃一君一緒にきて!
さっきの警備員が見張ってるけど…
ああー かったるいなあ~~
早く仕事終わらせてビール飲んで相撲をみたい……
ちょっとそこのおじさま!
ん?

お……
お前ら
さっきの!!
ここは立ち入り
禁止だと
言ったろうが
〜〜〜〜!!
あらん
♡

おつとめ大変
だろうと思って
せっかく
さし入れ持って
きたのにい
それとも
私達がお相手じゃ
物足りない……？
いや～～
そこまで
言うのなら
せっかくだし
ちょっとだけ
いただい
ちゃおう
かなーっと

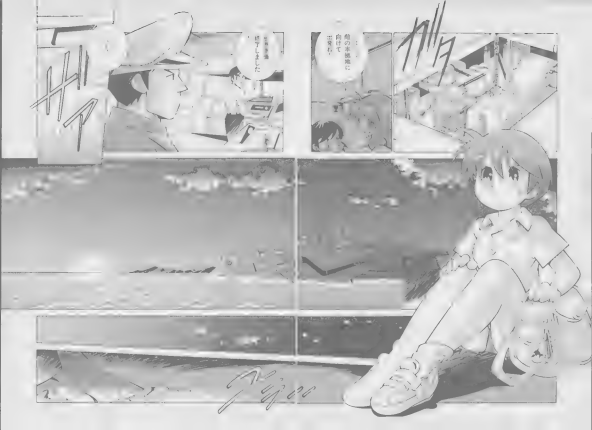
ささ！
飲めや
歌えや！
今宵は
あなたも
王皇貴族！
ご…
極楽
〜〜〜！
ときに
おじ様…
あの船
どこまで
行くの？
あの船か？
これは
秘密
なんだがな
あれは
四方津の
研究所に
行くんだ！
研究所
！

だけどそこの所長のノクリっていう男がすごいイヤな奴でよー
なんで民間人の言うことなんか……オレ達はくやしくてくやしくて…!!
わかるわぁ〜〜〜〜〜〜その気持ち!
船長をアゴで使いやがる!!
何い〜〜〜!?
わかるだと〜〜〜!?
だったらオレにチューさせろ!!
いやーん!
ぽっ
いっ今のは……!?
あらあらおじ様飲みが足りませんわ〜〜〜!!

やっとつぶれてくれたわ〜〜
さ 今のうちにコンテナに…
待れ……
ろうも変やと思っひゃら
お前りゃまひゃか……？
れっ？

おっ…オレのが み 皆に……!!
男が泣くな みっともない!!
なんか ミキと アップルパイ みたいな展開 ね〜〜〜
私達のこと バレないかしら?
大丈夫よ 勤務中に女と 酒を飲んでた なんて言える わけないもの…
どうやら あの船は 確実に 海原君の所に行く ようだな!

で何で僕だけ
こっちのコンテナ
なんだ?
このコンテナは
女の子専用なの
!
私達女の子3人で
入るの!
叔父さんは
男でしょ!
誰が
女だ~~~!!
ちえっ
しゃ
しばらくの
お別れね!
ガバァァァ



敵の本拠地に向けて

海腹川背
(第1巻)おわり

何だかずいぶん
不気味な所に
来ちゃったなあ……
チラシの場所だと
このあたりなんだけど……
町はずれの
雑木林の中……
不可思議
即時解
秘密厳
!

魔法あります
あったあ……
ここだあ！
…けど これじゃあまるで 幽霊屋敷だよ～～～
――何だ こりゃ!!
魔法 有り
どよ～ん
何だか 悪い予感か……
ええい！なるようになれだあ！
ばん

あら
いらっしゃい
グツグツ
まあ！
めずらしいこと
若い男の子よ！
今日はなあに？
お客様なの？
うふふ
真っ赤に
なっちゃって
可愛いわねえ
い……

家を間違えましたさよなら!!
あら
ぴゅー
あらあら逃げることないのに
あなた何か困った事があってここに来たんでしょう
エビフライ
だったらこのまま帰るなんてことはしないわよねー
言っとくけど後がこわいよ〜〜〜〜!
やめなさい!!

だめじゃないの 2人とも!!
もっと まじめに お仕事 してよっ!!
あ―― うるさい うるさい
エビフライ
また お客様を おどかして〜〜〜!!
ごめんなさいね
で? どういった 御用件で ここに?
実は……

まあー 可愛い 女の子だこと！
けっ ガキだよガキ！
もお！ まじめに やってよお!!
たびたび ごめんなさい それで その子が？
あの
もう 3週間も 眠ったまま なんです
はあ？ 病気の話なら ウチじゃなく お医者様の 方が……
いえ 病院には もう行ったん です！

その………
入院中なんです
でも
何度調べても
何の異常も
なくて
家族の人達と
色々手をつくして
霊能者にまで
相談したんですが
全く効果
なしで……
それで
自分にも何か
出来ることは
ないかと……
で
ウチに来たって
わけね!
どう思う
そうねえ

眠っちゃう以前に何か変わったことは？
そういえば
毎晩変な生き物が夢の中に出て来るとか…？
あなーんだ ただの夢魔じゃないの——
やれやれ ちっとも大したことじゃないじゃん！
あ あの 夢魔って……？
人の夢の中に住みつく悪魔の一種よ！
また〜〜〜！お客様にそういうことをする〜〜〜！
で？どうするの？誰が行く？

あ〜〜〜 めんどくさい めんどくさい
わかったわよ！私一人で行けばいいんでしょ!?
ところで あなた…… え〜〜〜っと？
モリです
じゃあモリ君 言っておくけど 私達ボランティアじゃないの
私達が 仕事をする以上 それなりの見返りは 覚悟してもらうけど
それでもいいの？

…………
はい
それが
命にかかわる
ことでも？
えっ？
うふふ
冗談よ
モリ君の
彼女？
ち……
ところで
この子
ちがうんです
そんなんじゃ
ないんです

ふうん？
いつも すみませんねえ モリさん
いえ……
今日は お友達も 一緒なの？
はい！
じゃあ私 着がえをとりに 帰りますので
すみませんが お願いしますね
……
お母様 だいぶ疲れてる みたい
ずっと つきっきり だからね

………
どう？
まちがいないわ！夢魔がついている！
もう少しおそければ手おくれだったわ！
でも心配しないで！
ぷち

夢魔はだいたい
胸のあたりに
ひそんでいるの
いっ……
一体何を!?
大丈夫よ
この退魔の
剣で……

さあ！
いるのは
わかっているのよ！
さっさと出て
来なさい！
……………
きっつぅ
〜〜〜
えらい
ぞんざいな
目に
あわせて
くれますなあ
〜〜〜
………………
出て来るわよ！

このわてを夢魔インクブスと知った上でのことてっか？
おや？
あんたはん魔女てんな？
さあ！その子から出て行きなさい！
何で魔女が人間の味方なんかしてますのや？
あなたになんか関係ないことよ!!
でないとこの剣でちょん切っちゃうわよ！

ちっ
魔女はいつでも
高飛車やな
せやけど
せっかくのエモノ
手離す
わけには
いきまへん
なあ!!

ナナさん!!
この化け物めえ!!
人間ふぜいがこざかしい！ひっこんどれ!!
わあっ!!

きゃあ
モリ君!!
だめだわ
動けない!!
夢魔ごときに
こんな能力が
あるなんて!!
意外でっしゃろ
それも全部
その娘さんの
おかげです
ねん
今その娘の
心の中は
自責の念で
いっぱいや
それが
ワテに力を
与えて
くれる
魔女とはいえ
しょせんは
ただの小娘!!
今の
あんたじゃ
ワテには
勝てまへん!!

誰がただの
小娘だって!?
ぐしゃ
うぐ
お姉ちゃん!
ちょっと
心配になって
来てみれば
何て
ありさまだよ!
まあ
ナナはまだ
子供だから仕方
ないけどね!
な 何で
魔女が
3人も!?
くそ〜〜
ナイトメア
行け!!

ひえ〜〜〜〜 ワテの ナイトメアが〜〜〜〜!!
おまえなんかとは 格が違うんだよ!
今よ モリ君 その剣で!!
梨花子さんを 助けて あげて!!
ど ひ ゅ〜っ

あ〜ん コワかった 〜〜〜〜〜！
けっ！ ナマ言っても ガキだね！
モリ君も よくがんばった わね
じきに この子も目を さますわ！
さっそく 日曜にでも デートに誘って あげたら？
よー色男！
だから 違うんですって ば〜〜〜〜〜！
モリ！

ああ
もう大丈夫だ
そうだ！
おっ丸山
梨花子の
目が
さめるって
本当か!?
だ"れこの男?
じゃオレ達は
これで引き上げる
から
おまえ
目がさめるまで
側にいてやれよ！

それから梨花子に
あんまり気にするなって伝えておいてくれないか
ああ伝えておくよ
いろいろとすまん……
バーカ今さらあらたまる仲じゃねーだろ！
なんでなんで!? 私 納得できない！
そりゃあ あの人の方が少しだけカッコいいけど……
あら あら
ぷんぷん
モリ君 梨花子さんのこと好きだったんでしょ？
実は 気持ちを打ちあける前に 丸山との仲をとりもつように頼まれちゃって
マイッタ…

あ〜!! お前 バカだよ おバカ 大バカ!!
男 あてがう! 命かけて 助ける!
いくら 好きな女と 親友のためでも そこまで やるか〜〜〜!?
きっと梨花子さんも モリ君のそういう所を 見越して丸山君との ことを頼んだのね ……
でも モリ君の気持ちを 利用した自分が だんだん許せなく なって
良心の呵責で すっかりまいって た所を夢魔に つけ込まれたん だわ……
結局全部 こいつの お人好しが 招いた災い だよ!!
でも私 モリ君みたいな 人好きよ
わーい 私もお 〜〜〜!!
あたしゃ まっぴら ゴメンだね!
ところで 報酬の件 だけど〜〜
モリ君 いいんだから
当分の間 家事手伝いだけで いいわよ〜〜〜!
わーい 助かる〜〜〜!
バカ
トホホ〜〜〜

魔法あります
おわり

バーガーSC-405
海腹川背①

発行	平成7年9月29日　第1刷発行
著者	山吹ショウマ　©Shouma Yamabuki, 1995
発行人	北井　優
発行所	株式会社　スコラ 〒107 東京都港区南青山1-1-1新青山ビル1158 TEL.03-3478-7177
印刷所	大日本印刷株式会社／豊国印刷株式会社
製本所	株式会社　光洋製本所

Printed in Japan
定価はカバーに表示してあります。
落丁本・乱丁本は、小社製作管理部にお送り下さい。
送料小社負担にてお取り替えいたします。

ISBN4-7962-4349-6